

■フランス：2012年 LNG 輸入量は、前年比 32%減

フランス経済紙は2013年4月4日、2012年のフランスにおける LNG 輸入量が前年比 32%減の 90 億 m^3 となり、ガス消費量に占める LNG 比率は 2011 年の 30%から 2012 年には 20%に下落した。このような傾向は他の欧州諸国でも見られ、欧州域内のガス消費量は 2011 年に前年比 11%減、2012 年に前年比 3.7%減となった。米国でのシェールガス生産の拡大を受けて、米国産の石炭が低価格で欧州市場に流入し、ガス火力の競争力が低下していること、また、日本をはじめとするアジア地域で LNG 輸入が拡大していることで、アジア市場での LNG 価格が上昇し、世界の LNG がアジアに流れていることなどが要因となっている。こうした状況から、欧州地域の LNG 受入基地の稼働率は 2012 年に平均 31%まで低下している。フランス国内には Elengy (GDF スエズ子会社) が運営する LNG 受入基地が 3 カ所あるが、そのうち Montoir de Bretagne 基地では 2 月後半からガス導管による供給を止めている。既存の受入基地は需要家と長期契約があるため、経営は比較的安定しているが、現在進行中のプロジェクトについては、今後、計画が見直しされる可能性もある。